

# 『体育エキスパート教員活用事業』を活用した体力向上に向けた実践

俱知安町立北陽小学校 学級数 10 (校長 金崎 徳子)

## I 実践の趣旨

本校では、令和2年度から「体育エキスパート教員巡回指導事業」の指定を受け、体育エキスパート教員を活用して体育授業の充実と体力向上に向けた実践を進めている。今年度は、特に体育授業における学級担任の指導力の向上、新体力テストの結果に基づいた取組について充実を図った。

## II 実践の概要

### 1 体育授業における学級担任の指導力の向上

#### (1) 体育授業の打合せ時間の確保

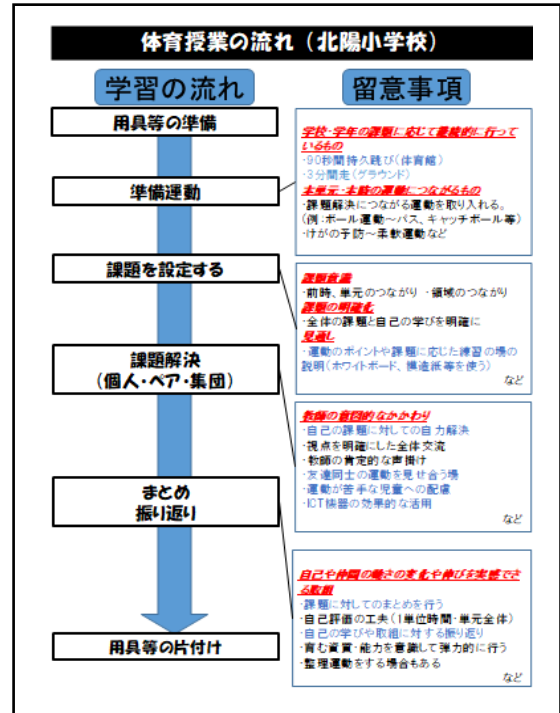
学級担任が単元の見通しをもてるように、体育エキスパート教員が指導計画を作成し、学級担任と打合せを行った。打合せでは、特に領域ごとの系統性や運動量を確保するための場や用具の工夫について事前に確認した。また、授業後には、指導記録簿をもとに振り返りを行い、指導法や児童の様子、評価等について体育エキスパート教員が助言した。

#### (2) 課題解決型授業の日常化

児童に毎時間の活動の見通しをもたせるためにホワイトボードやプロジェクターを用いて本時の課題や活動の流れを提示し、振り返りにも効果的に活用した。また、準備運動→課題設定→課題解決→振り返りを基本とした学習の流れを定着させ、全学年で統一して取り組んだ。さらに、児童の体育授業に対する授業評価アンケートを実施し、前後期で比較することで課題解決型授業やタイムマネジメントに対する意識を高めるように役立てた。

#### (3) ICT 機器の活用

高学年を中心に、器械運動や陸上運動等の学習でタブレットの活用を進めてきた。グループ内で互いの動きを撮影し、見合いながら改善点を確認したり、より具体的なアドバイスをしたりすることができた。また、手本となる動きについて動画教材を提示してイメージをもたせるとともに、児童が運動のポイントを確認しながら取り組むことが出来るようにした。



### 2 新体力テストの結果に基づいた取組

#### (1) 授業における補足的な取組

令和2年度の新体力テストの結果から明らかになった課題である「持久力」の向上を目指し、授業の準備運動の中に持久縄跳びや3分間走を取り入れた。また、運動を習慣化するために記録カードを作成し、記録の向上に向けて意欲的に取り組むきっかけをつくった。

#### (2) 「北陽体力アップチャレンジ」の取組

朝の活動の時間を利用して、縦割り班の縄跳び活動に取り組み、高学年が低学年に短縄の跳び方を教えたり、協力し合ったりしながら長縄の回数跳びや八の字跳びなどをして、学校全体で体力向上を図った。

#### (3) 家庭と連携した体力向上の取組

保護者向けに新体力テストの結果を配付し、体力の状況を把握し、運動、生活習慣の改善に向けて活用するように呼びかけを行った。



【朝の縄跳びチャレンジ】

## III 実践の成果 (○) と課題 (●)

- 体育エキスパート教員と学級担任間で指導内容や方法等について日常的に打合せを行い、連携を図って授業を行うことにより、学級担任から「器械運動では、技だけでなく、技につながる感覚を身に付けることが大事だと分かった」「ボール運動では、ボールに触れる時間をしっかり確保する必要があることが分かった」などの発言があり、指導力の向上につながることができた。また、児童がペアで課題設定をしたり、互いの動きをICT機器で撮影し、対話の中で課題解決を進めたりする姿が見られるなど、児童の主体的な学習につながることができた。
- 体育エキスパート教員を中心に改善・充実を図ってきた授業づくりや指導方法等について、学校全体で共通理解を図り、更なる充実を目指して研究を進める必要がある。